令和6年度の 予算特別委員会を開催

事務事業を慎重に審査

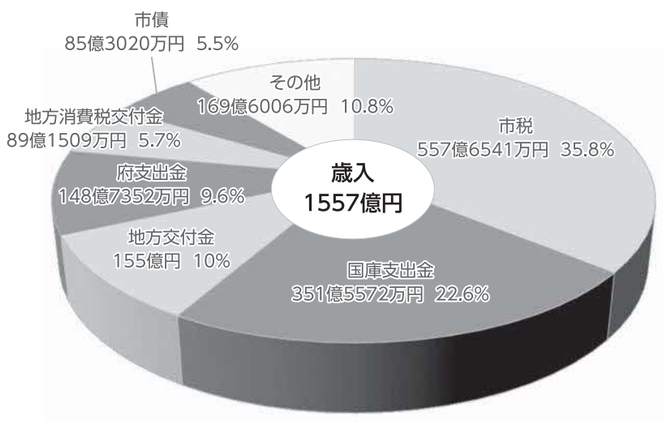
議会は、2月 26 日の本会議で、令和６年度の各会計当初予算案を、15 議員で構成する予算特別委員会に付託しました。

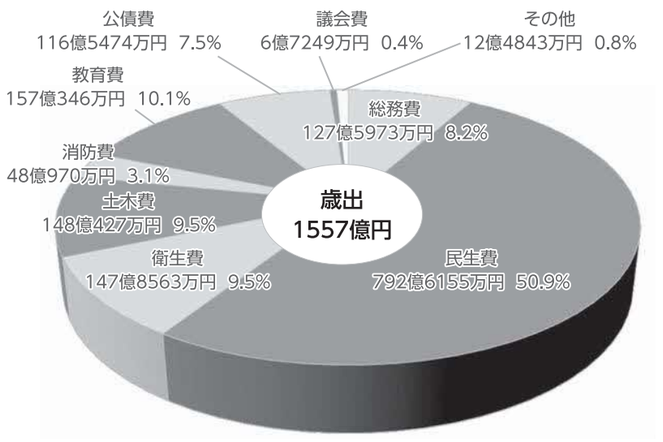
令和６年度当初予算では、さらなる行財政改革の取組を着実に推進し、限られた財源のより効率的、効果的な活用を図り、子育て世帯に対する施策の一層の充実や市駅周辺再整備に重点的に取り組むほか、あらゆる世代や市域全体を捉えた課題解決を進めることとしています。同委員会では、3月12日・14日・19 日・21 日・25 日の５日間にわたり、各事業項目などに対して質問・提言が行われました。

予算特別委員会委員

【委員長】丹生真人
【副委員長】長友克由
【委　員】広瀬ひとみ、三和智之、野村生代、奥野美佳、前田富枝、大濱暢祐、高野寿陛、妹尾正信、佐田あゆ美、泉大介、千葉雅民、一原明子、田中優子（議席番号順）

一般会計予算 1557億円





※千円の位を四捨五入していますので、歳入・歳出における各費目の合計額と総額は一致しません。

各会計別予算額

（単位：千円，％）

	会計名	令和6年度	令和5年度	前年度比増減率
	一般会計	155,700,000	154,500,000	0.8
特別会計	国民健康保険	40,000,000	41,041,000	▲2.5
特別会計	自動車駐車場	98,000	98,000	-
特別会計	財産区	109,000	118,000	▲7.6
特別会計	介護保険	38,167,000	36,706,000	4.0
特別会計	後期高齢者医療	8,539,000	7,569,000	12.8
特別会計	母子父子寡婦福祉資金貸付金	25,000	28,000	▲10.7
特別会計	計	86,938,000	85,560,000	1.6
企業会計	水道事業	13,712,730	14,371,013	▲4.6
企業会計	病院事業	13,220,970	12,908,520	2.4
企業会計	下水道事業	20,350,029	18,925,555	7.5
	合計	289,921,729	286,265,088	1.3

※企業会計の予算は、収入と支出が必ずしも一致しないため、支出額を記載しています。

※質問の内容について、各議員が３項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。

退団後の消防団員 地域防災への橋渡しを

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **泉大介**

質問 定年で退団する消防団員への報償金を計上しているが、6年度の退団人数と今後の傾向、また、全団員のうち、60・50代の割合を聞く。

答弁 6年3月1日現在で64歳の団員6名が定年で退団する見込みで、10名程度の退団が続くと想定する。また、全団員43人中、61歳から65歳は11・5％、51歳から60歳は39・7％を占める。

要望等 退団した貴重な人材が地域の防災活動で活躍するために、市が橋渡しを行うよう要望する。

消防団員の訓練

野外活動センター 施設リニューアルを ニーズを踏まえた

質問 野外活動センターのリニューアルに向けてニーズを把握すべきだが、利用者アンケートにおける主なニーズの内容と、6年度の取組を聞く。

答弁 アンケートを踏まえ、テントの持込みやたき火シートの利用等を条件にたき火を許可する、「貸出しフリーキャンプサイト」を試行実施する。

要望等 魅力的な施設を目指し、リニューアル前でも、様々な取組を推進するよう要望する。

カラス対策ネット等購入補助の申請方法は

質問 以前に実施したカラス対策ネット等購入補助事業を再度実施するに当たり、前回のように新規購入の箱型のものに限定せず、今回は箱型以外のものも補助対象とするという。申請手続はオンラインでも可能なのか。

答弁 ごみ置場の位置や道路状況、利用者数等の確認のため、今回も穂谷川清掃工場での申請となる。

要望等 何度も申請に行かなくて済むよう、丁寧な周知を要望する。

SNS相談アプリ 対象者を18歳に拡大 卒業後の孤立予防へ

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **佐田あゆ美**

質問 市立小・中学生1人1台配付のタブレット端末にインストールされているSNS相談アプリ「ぽーち」は、5年度に約6千人が利用したと聞くが、6年度の取組内容を聞く。

答弁 SNS相談対象者を新たに市内在住・在学・在勤の18歳まで拡大し、相談件数の増加に対応するため相談員の増員も行う。

SNS相談アプリ「ぽーち」の画面イメージ

要望等 義務教育終了後の孤立予防の必要性を訴えてきたが、「ぽーち」で相談できることは有益だと考える。多様化する相談内容の分析、支援体制の整備も要望する。

道路整備とルール啓発で 自転車の安全性の向上を

質問 自転車の交通違反への反則金制度導入に係る法改正の動きもある中、6年度の自転車の安全性向上に資する事業の実施内容を聞く。

答弁 歩行者と分離した自転車通行空間の整備と自転車利用のルールに係るポスター掲示等を行う。

要望等 道路整備とルール等の啓発というソフト・ハード両面対策の相乗効果で、自転車の安全性向上を図るよう要望する。

自分らしい暮らし支える 在宅医療等の支援体制を

質問 5年度より増額となる在宅医療・介護連携推進事業費について、厚生労働省の事業手引が示す項目に係る取組を聞く。

答弁 かかりつけ医マップ等の作成や関係機関との定期的な会議、専門職向け在宅医療電話相談窓口の設置、認知症月間等に関連したイベント等を行っている。

要望等 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで継続できるよう、支援体制の構築を要望する。

プロモーションと分析で 教育・子育て施策の充実を

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **大濱暢祐**

質問 市が示す「こども・子育て応援パッケージ」約60億円の内容を聞く。

答弁 子育ての負担軽減や教育の一層の充実等、分野ごとに市独自施策をとりまとめて示している。

要望等 市は6年度から4年間で、子育て世帯2000世帯の転入超過を目標としている。効果的プロモーションとその分析等を踏まえ、施策の一層の充実を図ること、また、時間的負担の軽減策等、子育て世帯のニーズを的確に把握した施策を打ち出すことを要望する。

病児保育室

病児保育室 予約システム導入など さらなる取組の推進を

質問 病児保育室運営に係る民間委託料が5年度より増額となるが、利用状況と課題を聞く。

答弁 5年度上半期の利用状況は、4年度同時期の50・8％増である。予約は埋まる一方、キャンセルも多いため、その電話応対や当日の空き病床発生が課題となっている。

要望等 子どもと保護者の双方を支える同保育室について、予約システム導入等の取組を要望する。

市立ひらかた病院 経営強化プラン 収益増加・確保策は

質問 病院事業会計の赤字について、改善に向けた経営強化プランの収益増加・確保対策を聞く。

答弁 紹介・逆紹介率（＊1・2）の向上や在院日数の適正化等を、患者数の増加や診療単価の向上につなげ、収益確保を目指す。

要望等 看護師不足による休棟もあり、短期的な収益増加についても、人員確保の取組が大切である。他の医療機関の採用活動情報を収集し、人材紹介等の新たな採用手法を検討するよう要望する。

困難を抱える女性支援へ 専門人材の確保、育成を

日本共産党議員団 **広瀬ひとみ**

質問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の6年4月施行に伴う取組について聞く。

答弁 相談者から、相談に至る背景を丁寧に聞き取り、福祉など様々な機関と連携し、相談者に必要な支援を行うための体制を整備していく。

要望等 相談件数の増加に伴う相談体制の強化や、信頼関係に基づく継続的な支援のためにも、専門人材の確保、育成に取り組むよう要望する。

各種女性相談を実施する「男女共生フロア・ウィル」

料増 険担 保負 相談場所の確保と 減免制度等の周知を

質問 6年度から国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料が増額改定され、国民健康保険料では低所得世帯でも年1万1380円増額する。府の運営方針には「滞納者が納付相談を行いやすい環境整備の推進」とあるが、充分な相談場所の確保はできるのか。

答弁 限られた場所の中で、納付相談者の負担を軽減できるよう配慮する。

要望等 保険料の減免・徴収猶予制度について、周知の工夫を要望する。

特別養護老人ホーム整備計画目標数でさえ不十分

質問 ひらかた高齢者保健福祉計画21（第9期）での特別養護老人ホームの整備目標数と同計画策定時の待機者数を聞く。

答弁 同計画では、地域密着型特別養護老人ホーム1か所で29床など計39床の整備を見込み、待機者数は529人である。

要望等 第8期計画で87床必要なところ29床しか整備されず、求めている人に対して必要なサービス提供ができていない。第9期計画は目標数さえ不十分であると意見する。

防災備蓄品の倉庫管理 システム導入の改善点は

公明党議員団 **田中優子**

質問 防災備蓄倉庫管理の改善、充実のために導入する管理システムの導入時期と改善点を聞く。

答弁 6年5月頃に導入を予定している。同システムにより、倉庫からの物資搬出時点で管理台帳を更新できるため、入力漏れを回避できる。

要望等 同システムを庁内で水平展開できるよう検討するとともに、トイレや成人用おむつ等、健康上、最も大事な物資の備蓄について、調査と考察を行うよう要望する。

防災備蓄倉庫の備蓄品

街路樹を適切に管理し 地域の魅力向上を

質問 「都市魅力を高める」、「みんなで育てる」等の街路樹維持管理方針を定めたというが、今後の取組に係る考えを聞く。

答弁 同方針に定めた点検シートの活用等で、街路樹の異常の早期発見・対応に努める。取組の推進が、同方針に沿う街路樹の育成になると考える。

要望等 枚方八景でもある香里団地のけやき通りの街路樹は、景観を美しくする重要な要素である。街路樹を良好に保つことで地域の魅力を高めるよう、維持管理を要望する。

65歳以上の高齢者にも 補聴器購入費用の助成を

質問 障害者手帳の交付対象外である軽度難聴児に対する特別補聴器の給付事業の対象者が拡充されるが、経緯等を聞く。

答弁 当事者等の要望を踏まえ、障害者支援のほか、学習・経済支援の観点から22歳まで拡充する。

要望等 聞こえの問題は加齢性難聴等の人も同様に抱えている。65歳以上の高齢者に対する補聴器購入費助成も早急に実施するよう要望する。

平和の日記念事業 若者らと連携した 事業継続を願う

連合市民の会 **野村生代**

質問 3月1日の平和の日記念事業は、多くの市民が参画し、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるために非常に意味のある機会である。若い世代の参画を促すための6年度の取組について聞く。

答弁 平和フォーラムでは、小・中学校による平和学習の発表を、平和の燈火では、大学生による実行委員会形式で、小学生によるキャンドルカップ制作などを実施する。

要望等 同事業が、若者や子どもたちと連携し継続することを強く願う。

キャンドルカップを点灯する親子

居場所づくり 学校が全児童・生徒の 居場所となる支援を

質問 本来、学校が全ての子どもたちの居場所となる必要があるが、登校したくてもできない児童、生徒にとって学校以外の居場所が増えることはよいことである。ルポ（＊3）が提供する学びを聞く。

答弁 ルポでは、個別学習やグループでの体験活動、メタバース空間を活用したオンライン授業等、個々の学びに合わせた教育内容を提供している。

要望等 全ての子どもたちの居場所となるインクルージョンな学校に変わるために、学校への支援の充実も要望する。

市民意見を取り入れた インクルーシブな公園を

質問 公園のあそび場整備事業に森林環境基金を活用する理由を聞く。

答弁 公園に木製遊具等の整備を行うためである。

要望等 自然のぬくもりを感じる木製遊具の整備も良い取組だが、様々な市民の幅広い意見を取り入れて、誰もが楽しく安心して利用できるインクルーシブ（＊4）な公園の整備を要望する。